

2020年7月31日、藤沢市教育委員会は7月臨時会を開き、2021年4月から使用する中学校教科書について審議し、歴史・公民ともに東京書籍を採択しました。藤沢市では2011年から3度にわたり現場の評価が極めて低い育鵬社が採択されてきましたが、9年目の今年、現場の意向・市民の声を尊重した採択となりました。

同日午後5時から藤沢市役所会議室で、藤沢の教科書・採択問題にとりくむ会と共催で報告集会をおよそ30名の参加で行いました。



採択後の報告集会 藤沢市役所 20200731

## 9年目 育鵬社採択阻止

みんなの教育・ふじさわネット

### あたりまえの要求が尊重された採択に

藤沢市

教科書採択報告集会

育鵬社不採択

2020年7月31日



報告集会でのあいさつと報告

(上) みんなの教育・ふじさわネットの松本さん

(下) 藤沢の教科書・採択問題にとりくむ会の樋浦さん

#### 2011年、教育委員人事への政治介入

2011年、海老根前市長による、教育委員人事への政治介入が行なわれ、侵略戦争美化、憲法「改正」の押しつけ、憲法の三原則ないがしろの、問題だらけの育鵬社教科書(社会科・歴史、公民)が、藤沢市教育委員会で採択されました。先生方がまったく支持しなかった教科書でした。

#### 2015年も教育的論議を尽くさず、育鵬社採択が強行

2015年採択時まで、先生方による「教科用図書調査書」は綴じたままで簿冊として一冊、教育委員会に置かれたままでした。調査書のまとめがない、採択審議委員会の答申は議事録だけ、市民の意見書も綴じたまま、これでは先生方や市民の意向は、わかりづらいし、教育委員に伝わりません。教科書の採択までに、恣意的な介入ができる危険性があるしくみでした。育鵬社教科書の内容への批判とともに、このしくみに注目して、改善の運動を進めていきました。教育委員会事務局へ、よりわかりやすい資料提供を要求していきましたが、当初は、「教育委員が要求すれば用意する」という受け身の姿勢でした。2015年も教育的論議を尽くさず、育鵬社採択が強行されました。

#### 2018年～2019年現場の先生たちへのアンケート(「藤沢の教科書・採択問題にとりくむ会」)

地域の教職員組合は、社会科の教科書研究の教研組織を立ち上げ、教科書研究が始まりました。資料提供をし、一緒に考えていく道を模索していきました。2018年12月～2019年2月に現場の先

生たちへのアンケート（「藤沢の教科書・採択問題にとりくむ会」HP参照）では、その教科書の使いづらさや困難を抱えた実態が明らかになりました。

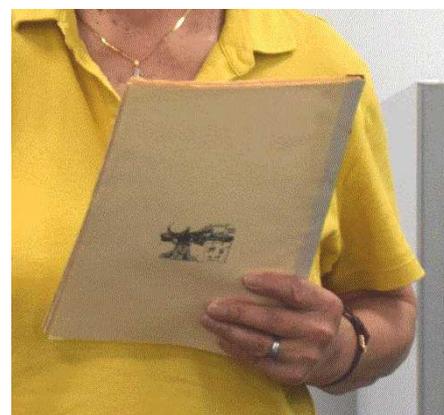
## 2015年・2020年「先生方や保護者の意向尊重を」という署名

教科書問題の世論は全国的にも、大きく高まりました。「藤沢の教科書・採択問題にとりくむ会」との連携・協力は、教科書問題の一点で、「先生方や保護者の意向尊重を」という署名（2015年54000筆以上、2020年は38000筆以上）、学習会などの共同の運動として発展しました。地域の市民団体にも広く呼びかけ、入学式当日のチラシ配り、市民の教科書展示会での意見書書き、採択審議委員会の傍聴、そして採択当日の教育委員会傍聴など、多くの市民の参加がありました。

教科書展示会では、教科書の内容についての詳細な指摘や、教科書採択での先生方の声を尊重する要望など、たくさんの市民の意見書が教育委員会に届けられました。またみんなの教育・ふじさわネットのHP（ホームページ）開設で、運動がさらに広がりました。

## 2017年以降、教科書採択の公開性、透明性は大きく前進（4頁に資料の表あります）

採択のしくみの改善について、教育委員会事務局へ要望、懇談を重ねていきました。その結果、2017年以降、教科書採択の公開性、透明性は大きく前進しました。教育委員会事務局は、調査書や教科書展示会での意見書をまとめ、さらに審議会も審議のまとめをつくり、答申としました。それらは参考資料として教育委員に届けられました。さらに2019年の採択審議委員会では、中学校の教科書について、委員が（教員に聞き取りをして）「教科書によっては使いづらさがある、ということでした。」と発言しました。



50年以上傍聴し、情報公開を求めてきた体験を、記録冊子を手元に語る。今回の成果はこうしたとりくみが基礎にあり実現。

## 2020年7月31日、育鵬社の名は、一切出ず

2020年7月31日、採択当日。定員の2倍の傍聴希望者がありました。教育長が「（現場の先生方からの）調査書について、先生方の貴重なご意見なので大切な資料として参考にさせていただく」「市民の皆様から多くの意見をいただき、ありがとうございました。これらを参考にして、採択したい」と表明しました。審議では育鵬社の名は、一切出ず、先生方の評価の高かった教科書が、つぎつぎ採択されました。

先生方の声が尊重される教科書採択、侵略戦争賛美の教科書反対、というあたりまえの要求が尊重される採択まで、9年。運動が実りました。

これまで育鵬社を採択してきた地域から、今年、育鵬社を採択をしなかったという報告があいっついでいます（4ページに資料）。憲法の理念を教育に生かす運動は、これからも続きます。

（みんなの教育・ふじさわネットのHPもご参照ください。）

## 〔採択され2021年4月から藤沢市で使われる教科書〕

教科種目	発行者	教科種目	発行者	教科種目	発行者	教科種目	発行者
国語	光村	公民	東書	音楽一般	教芸	技術	東書
書写	光村	地図	帝国	器楽合奏	教芸	家庭	東書
地理	帝国	数学	東書	美術	日文	英語	三省堂
歴史	東書	理科	大日本	保健体育	大修館	道徳	光村

## この子どもたちの未来のために 今日の採択があると

今年の中学校教科書採択には、75人の傍聴定員に対し、151人が傍聴に集まり、関心の高さを実感しました。傍聴席からは、ママと一緒にの小さいお子さんの声も聞こえ、この子どもたちの未来のために今日の採択があると思いました。



歴史と公民の採択が近づくと胸がドキドキしましたが、岩本教育長と4人の委員は育鵬社版を不採択とし、両者とも東京書籍版を採択しました。過去3回に渡り、現場教師の評価が低い教科書を選ぶという不可解な採択が、9年目にして透明性のある採択となり、本当に良かったです。

しかし4年後には再び採択が行われます。2006年に改訂された教育基本法が今日の社会に鎮座している限り、教科書問題に終わりはありません。子どもたちが教科書を通して、人間らしく豊かに、平和に生きていける社会の実現を目指せるように、今後も子ども劇場の仲間とともに、力を合わせていきたいと思っています。

大森紀代子

## 藤沢市の中学校教科書採択を傍聴して

中学校教科書採択が気になり傍聴に行きました。傍聴者が多く抽選に漏れ、小ホールで採択の実況放送を全て聞きました。意外にも、とても、当たり前に進められていました。子どもたちにふさわしい教科書をと。子どもの興味、関心、見やすさ等を考慮し各委員が意見、考えをのべていました。



歴史、公民についても育鵬社の侵略戦争美化する歴史教科書、改憲を誘導する公民教科書を推薦する委員は誰もいなかったとおもいます。

良かった。安堵しました。それぐらい緊張して採択の様子を聞いていました。

と同時に、今までの9年間育鵬社が採択され続けて来たのはどうして？と。今回の採択に向けての運動との違いが知りたくて、採択後の報告集会にも参加。今まで以上に市民運動や各団体との協力、共働の力によるところが大きいと感じました。

この違い、背景等を整理して皆の財産にしていけたらと思う。

中村 道子

## 報告集会の感想

今回の教科書採択会議は残念ながら抽選に外れたため、小ホールで音声を聞くことになりました。採択を聞いた時、9年間にも及ぶ悔しく腹立たしい社会科教科書採択がようやく振り出しに戻った思いを持ちました。2011年私は前年度に退職し、再任用として社会科の新採用教員の指導をしていました。そのような中で文科省の教科書検定は通ったものの様々な記述や内容に問題点が指摘され、平和を求める市民の教育を目指す藤沢の子どもたちによもや「育鵬社」の歴史・公民が採択されるとは思い及ばず、まさに愕然とした記憶を思い起こします。全国的にみてもこの教科書採択は政治主導による動きであることに間違いのないわけですが、これから4年間、さらにまた5年間の9年間この教科書をどう使うかがまさに社会科教師の力を試されることになりました。多くの先生方も悩みながら授業に取り組み、今回の採択でもしっかりと採択教科書の評価をしていました。私も微力ながら各地域での市民集会でこの教科書の指導書や問題集に基づいた授業を、疑問を持たずに行うとどうなるのかの模擬授業を行い、問題点を訴えました。そして多くの市民の方の公平化や透明化された行政を求める運動により今回の採択がようやくなされたのだと思います。



9年間の思いを語る

今後も気を許さず、教科書はその地域の子どものがより学びが深まるものを選びたい。市民が手を取りあって見守って行きたい。

元社会科教諭 近藤伸一

**神奈川県育鵬社採択地区0(ゼロ)に!  
道徳日本教科書もなし!**

8月23日(日)川崎市の採択で、神奈川県25地区の採択が終わり、育鵬社の採択はゼロになりました。

また、道徳での日本教科書の採択地区もありませんでした。

**全国各地から育鵬社不採択の知らせ**

右の表は育鵬社を採択してきた地区の今年の採択状況を示しています(8月26日現在。上が採択月日が早い)。

☆は育鵬社不採択です。育鵬社継続は、大田原市(歴史公民)、石垣市・与那国町(公民)、泉佐野市(公民。歴史は東書に変更)です。

8月27日現在、金沢市、小松市、加賀市、岩国市、防府市、小笠原支庁が不明です。閉鎖的で採択過程が公開されておらず、9月にならないと結果がわからない地区があります。

育鵬社は横浜市、大阪市、藤沢市など多くの地区で不採択となり、採択率を大きく減少させています。

**危うかった名古屋市**

名古屋市は7月29日に歴史と公民の採択予定でしたが、意見の聴取が不十分として歴史と公民の採択を8月7日に延期しました。29日、育鵬社を推す委員が二人。名古屋危うしの危機感が広がりました。31日藤沢市が育鵬社不採択、続いて8月4日横浜市も不採択に。7日名古屋市は全会一致で歴史は教出、公民は東書を採択。藤沢、横浜の流れが名古屋の採択に影響を及ぼした可能性も考えられます。



**藤沢市の教科書採択と情報公開**

☆青字のものは市のHPに公開

採択の年	採 択	教育委員会	採択審答申	市民意見書	学校調査書
2011年 中学校	歴史公民 育鵬社	80名 音傍聴× 会議録	会議録	有、全て公開(紙)	有、全て公開(紙)
2015年 中学校	歴史公民 育鵬社	100名 音傍聴× 会議録	会議録	有、全て公開(紙)	有、全て公開(紙)
2017年 小学校道徳	小学校道徳 光村 現場意向尊重	100名 音傍聴○小ホール 会議録	会議録(答申) まとめ(資料)	有、全て公開(紙) 意見一覧作成	有、全て公開(紙) まとめ作成
2020年 中学校	歴史公民 東書 現場意向尊重	75名(ｺｰﾅ対策) 音傍聴○小ホール 会議録	まとめ(答申) 会議録(資料)	有、全て公開(紙) 意見一覧作成	有、全て公開(紙) まとめ作成 ※1

※1 第2回採択審でまとめの表を傍聴者に配付

採択地区	歴 史	公 民	備 考
大田原市	育鵬社 継	育鵬社 継	
呉市	東書 ☆	東書 ☆	
四條畷市	教出 ☆	日文 ☆	
東京都立中高一貫	山川 ☆	教出 ☆	9校
東京都立中高一貫	山川 ☆	日文 ☆	1校
東京都立特別支援	東書 ☆	日文 ☆	
河内長野市	帝国	日文 ☆	
藤沢市	東書 ☆	東書 ☆	
横浜市	帝国 ☆	東書 ☆	
石垣市	帝国	育鵬社 継	
与那国町	帝国	育鵬社 継	
武蔵村山市	帝国 ☆	帝国 ☆	大ホール
泉佐野市	東書 ☆	育鵬社 継	
愛媛県立中高一貫	東書 ☆	日文 ☆	
愛媛県立特別支援	東書 ☆	日文 ☆	
新居浜市	東書 ☆	日文	
東大阪市	東書	帝国 ☆	
四国中央市	帝国 ☆	教出 ☆	
大阪市	帝国 ☆	東書 ☆	第一地区
	日文 ☆	東書 ☆	第二地区
	東書 ☆	東書 ☆	第三地区
	東書 ☆	帝国 ☆	第四地区
松山市	東書 ☆	日文	
上島町	東書 ☆	東書 ☆	